

## 【基本目標 2】

### 母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進

母子保健は生涯を通じた健康の出発点であり、子どもを安心して生み、ゆとりをもつて育てるための基盤となるものです。妊娠・出産・子育てが安全に、かつ快適にできるよう、妊娠早期からの健康管理・指導を強化し、すべての母子が健康で幸せに生活できるよう体制を整えます。

## 【基本目標 3】

### 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備

地域社会の希薄化などにより、次代の親となる子どもと乳幼児とのふれあいが減少し、子育てに関する意識が低いまま親になる家庭が増えてきています。このため、本町では次代の親の育成や子どもの教育環境の整備のため、学校関係のみならず、家庭・学校・地域が連携し、相互に情報交換などを行いながら、取り組みを進めていきます。

## 【基本目標 4】

### 子育てを支援する生活環境の整備

ニーズ調査において、子育て支援で本町に期待することとして「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やす」などの意見が多くあがってきていることから、子どもや妊産婦、高齢者や障がい者など、すべての方が安心して快適に暮らすことができるよう、良質な住宅の確保、危険箇所へのガードレール、カープミラーの設置を行い、子どもや子ども連れの家庭が外出しやすい環境づくりなど、総合的なまちづくりを推進します。

## 【基本目標 5】

### 職業生活と家庭生活との両立の推進

女性の高学歴化や価値観の多様化などを背景に、全国的に女性の就労率は増加し、結婚・出産しても働き続ける女性の姿が多く見られます（M字型の就労構造）。このため本町では、平成19年4月より高齢者・女性係を設置し、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みを開始し、子育てがしやすい環境づくりを推進します。また、保育サービスのより一層の充実を図り、子育てをしながらも安心して働くことができる体制を整えます。

## 【基本目標 6】

### 子ども等の安全の確保

核家族化や都市化の進行などによって、子どもを取り巻く環境の悪化が危惧されています。ニーズ調査において、通園（通学）路の不安点について、「交通量が多く危険」や「歩道が整備されていないので危険」などの意見が多くあがってきています。子どもや保護者が事故や犯罪に巻き込まれることを防ぐため、関係機関などと連携した活動を推進します。

## 【基本目標 7】

### 要保護児童への対応等きめ細かな取組の推進

全国的に要保護児童などの個別ケース事例が年々増加傾向にあり、内容も多岐に亘るため、迅速かつ適切な対応をするために、相談支援のさらなる充実を図るとともに、「桂川町子どもネットワーク会議」において、関係機関との連携を図り、虐待の早期発見・予防を行います。また、近年の経済状況の悪化に伴い、母子家庭や父子家庭などのひとり親家庭の経済的負担が増加してきています。そのため本町では、ひとり親家庭に対する保育サービスの充実とともに経済的負担の軽減に努めます。



## ⑨ 特定（保育）事業における目標事業量

「次世代育成支援対策推進法」において、特定事業に関する目標事業量の設定が定められており、国の行動計画策定指針では、「潜在的なニーズを把握しつつ、現在の利用実態などから目標事業量を設定する」という考え方が示されています。

本町においては、次世代育成支援後期行動計画に関するアンケートなどの結果や各種事業の実施状況、地域の特性などを十分に勘案し、特定事業に関する目標事業量を設定するとともに、計画推進の指標とします。